

平成 22 年 12 月 23 日午後 2 時～5 時 12 月例会

「NPO 法人鹿児島技術士の会 H22 技術講演会」受講 よかセンター

講演テーマ「最近の間氷期・氷期に鹿児島では何が起こったか」 大木公彦

地層や化石に残された人類の履歴と環境の変遷を明らかにすることは、これからの私たちを取り囲む環境の変化を推測する上で極めて重要である。特に海洋底生有孔虫の遺骸に含まれる酸素同位体比から得られた過去の海水温変化曲線は、貴重なデータを私たちにもたらした。これらのデータを含め、12.5 万年まえの最終間氷期以後の鹿児島の歴史について、地球科学の立場から述べられた。



講師：理学博士 大木 公彦 鹿児島大学総合研究博物館長・教授
鹿児島大学大学院理工学研究科・教授